

シ利益ヲ以テ運動費ニ充ツルコト、シ一方  
第ニ、交渉委員トシテ、幸間嘉一外七名ヲ選  
定シ、会社ニ對スル要求ノ貫徹ヲ期シ、其他多  
數ノ警備員ヲ設ケ、職工ノ軟化ヲ防リ、等漸ク  
陣容ヲ整ヘ、持久對策ヲ講シ、工場側幹部ト交  
渉ヲ開始シ、折衝數回ニ及ヒシニ、拒絶セラレ  
重後ト、會見スラ謝絶セラレ止ムヲ得スニ  
三重後、私宅ヲ訪問シタルニ、多クハ面會ス  
ルヲ得ズ、幹部等ハ、焦慮ノ餘、第ニ交渉委員  
トナリ、決死ノ覚悟ヲ以テ當ラントセシニ、何  
等得ルトコロナカリク  
四、軟派職工ノ活動  
職工側ノ交渉進捗セズ、在萬罷業ヲ繼續スル

一、過ダザルヨリ、軟派職工續出約七十名ハ、秋  
密裡ニ活動ヲ始メ、會社ニ向テ、幸宇議立謀  
者ノ職責ヲルシ、今時ニ工場始業ヲ為スニ、  
促シタルニ、會社側ニ於テハ、十月ニ十三日、横  
石市村外十三名ニ對シ、各自宅ニ解雇通知  
共ニ手書金日給、三週間分ヲ償給、素直ニ解  
ニテ送達セリ  
横石等ハ、解雇ノ通知ニ接シ、會社ノ不法ヲ高  
唱シ、解雇通知及手當金ヲ一括シテ返戻シ、莫  
京鐵工組合幹部ト協議シ、全組合應援ノ評ニ  
大々的活動ヲ開始セント圖策シ、一般職工ヲ  
激勵シタルニ、已ニ軟派職工ハ、會社ヨリ一定  
ノ條件認容ヲ得、秘密裡ニ連絡ヲトシ、全志ノ